



JAMCA ニュース

No.130

2026 年 7 月 1 日

発行
協会事務局

編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <https://www.jamca.jp/>

時代をリードするJAMCAの自動車整備技術者

専門学校 静岡工科自動車大学校 理事長
全国自動車大学校・整備専門学校協会 副会長

平井 一史

自動車技術の発展は常に新たな研究・技術開発の歩みとともに、革新を繰り返しながら進化し続けてきました。今では人々の暮らしや経済活動を支え社会になくてはならない存在となっています。また、自動車は時代の流れに伴う需要や技術の進歩により大きく変化し、自動車整備士が新しい時代に即した技術力を身につけることで、これまで以上に貴重な存在であり、自動車に高度な技術が搭載されるほど点検・整備の付加価値はより高まり、自動車が存在し続ける限り絶対に必要とされる職業です。

今後、自動車整備士として求められるものは、あらゆる変化に対応できる柔軟性と新しい技術を習得できる向上心であり、ただ手を動かすだけでなく電子技術を駆使できる IT スキルも求められ、併せてお客様に分かり易い説明ができる応対力と知識が必要不可欠であり、その役割の重要性がこれまで以上に社会からの期待度は高まっています。JAMCA 会員校はつぎのポイントに注力し教育を実践しています。

経験で直す時代から
コンピュータ診断へ

現在の自動車整備は「勘や経験で直す」時代からコンピュータで診断する時代に移行しています。これに伴って従来の経験による熟練した技術だ



けでは、どうにも対応できない場面が多くスキャンツールや電子マニュアルを使用した電気・電子的な知識と整備技術が必要になっています。現在、自動車にはシステムごとに沢山のコンピュータが搭載され、各々が自己診断機能を持っています。同時にスキャンツールが無ければ出来ない作業も数多く、対応する能力「いつ、どの場面でもどんな機能を使うか」または「どのデータを確認して解析するか」が大事であるので、幅広い知識・技術と訓練が必要となり、これまで同様に腕を磨いて経験を積むことは勿論であるが、頭を磨いて最新技術と向き合える自動車整備士を養成します。

経営に携わる知識の習得

将来的に経営に携わるポジションを目指す育成も選択肢のひとつであり、自動車整備士のような専門特化した仕事だけでなく、フロント業務や営業といった様々な業務に携わり、あ

らゆる仕事を経験することによりビジネスにおける視野が広がり、経営層として活躍する機会にも順応できるよう関連科目にも力点をおいて学んでいます。

自動車整備士を続ける
喜びを描く

自動車整備士は技術職です。まず、自動車整備に携わることの喜びと感動が実感でき、併せて年月を重ねるごとに自動車に対する知見や自動車整備の技術力は向上しているので、何より日々目まぐるしく進歩していく自動車の先端技術に触れられるという大きなメリットと期待感があります。また、自動車整備士という職業の社会的価値「国民の生命と安全を守る」は自動車技術の発展とともに再認識され、特にコンプライアンスを熟知している技術者への期待は大きく、JAMCA 会員校はこれからも「自信と遣り甲斐」を持って社会が期待し貢献できる人間力を兼ね備えた学生の養成に努めて参ります。

CONTENTS

- | | |
|-------|----------------------|
| 2 面 | 知ってほしい「留学生」と「国民健康保険」 |
| 3 面 | クルマ大好き!、活躍!! 卒業生 |
| 4面・5面 | 一級自動車整備士(総合) 変更内容一覧 |
| 6面・7面 | 協会トピックス・地区通信 |
| 8 面 | 私の教材活用・お知らせ・編集後記 |